



表彰委員会

石黒 美知子

(介護老人保健施設 くわの実の郷)

新潟県作業療法士会が設立 40 周年という記念すべき節目を迎えるにあたり、一言メッセージを送らせていただきます。

私が作業療法士を志したとき、高校の先生は、「リハビリ」という言葉を知りませんでした。作業療法士として働き始めたころ、「リハビリ」という言葉を知っている方は多かったです。「作業療法」という言葉を知っている方は、少なかったと記憶しています。現在、医療機関、地域に多くの作業療法士が働くようになり、作業療法士の知名度は、だいぶ高くなったと感じています。

私は、現在、県士会表彰委員会の仕事をさせていただいております。その中で、なんと多くの先輩方が、しっかりと、そして、地道に、また、仕事以外の場であっても、「作業療法」を行ってくださっていたのかと感動することが多々あります。表彰式の際、先輩方のいろいろなお話をお聞きするたびに、この先輩方の積み重ねこそが、「今の新潟県作業療法士会」の礎なのだと、強く感じます。毎回、作業療法士になってよかった、誇りを持てる職業でよかったと実感します。

今回、設立 40 周年記念式典に置いて、水越裕之氏が県知事表彰を受けられます。今回、経歴をまとめさせていただきましたが、本当に頭の下がる思いです。複数個所の作業療法室の開設を含めた日常的な仕事だけでなく、会長として県や各市とのやり取り、士会運営……ぜひ、会員の皆様も、会場に来て、直接水越先生の言葉を聞いていただき、お祝いのできればと思っています。

40 周年式典、祝賀会にて、多くの会員の皆様と一緒に、感動できればと思っています。